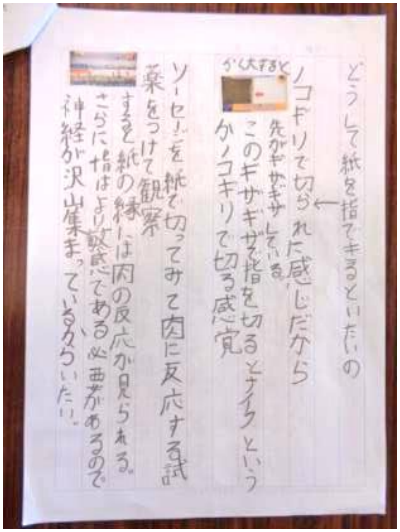
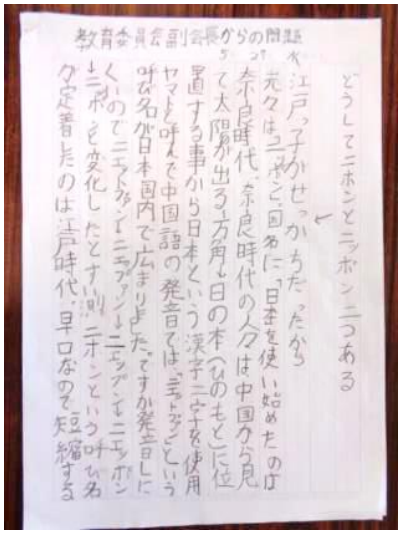
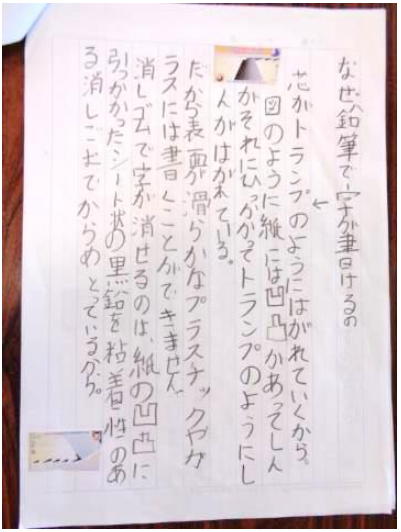
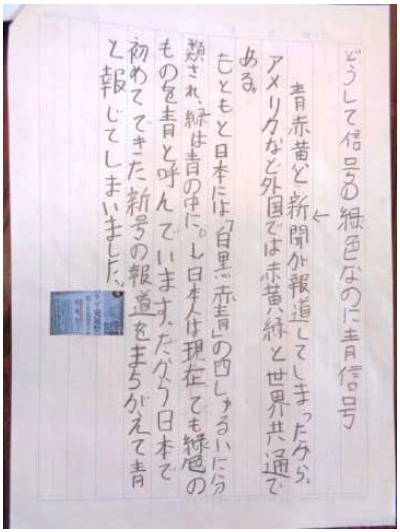

どうして紙を指できるといたいの
ノコギリで切られた感じだから
先がギザギザしている
このギザギザで指を切るとナイフというかノコギリで切る感覚
ソーセージを紙で切ってみて肉に反応する試薬をつけて観察
すると紙の縁には肉の反応が見られる。
さらに指はより敏感である必要があるので神経が沢山集まっているからいたい。


教育委員会副会長からの問題
どうしてニホンとニッポン二つある
江戸っ子がせっかちだったから
元々はニッポンと国名に「日本を使い始めたのは奈良時代。奈良時代の人々は中国から見て太陽が出る方角→日の本（ひのもと）に位置する事から日本という漢字二字を使用ヤマトと呼んで中国語の発音では「ニッポン」という呼び名が日本国内で広まりました。ですが発音しにくいのでニホンと変化したとすい則ニホンという呼び名が定着したのは江戸時代。早口なので短縮する


なぜ鉛筆で字が書けるの
芯がトランプのようにはがれていくから。
図のように紙には凹凸があってしんがそれにひっかかってトランプのようにしんがはがれている。
だから表面が滑らかなプラスチックやガラスには書くことができません。
消しゴムで字が消せるのは、紙の凹凸に引っかかったシート状の黒鉛を粘着性のある消しごむでからめとっているから。


どうして信号の緑色なのに青信号
青赤黄と新聞が報道してしまったから。
アメリカなど外国では赤黄緑と世界共通である。
もともと日本には「白黒赤青」の四しゅるいに分類され、緑は青の中に。日本人は現在でも緑色のものを青と呼んでいます。だから日本で初めてできた新号の報道をまちがえて青と報じてしまいました。

「ふだんの生活の中で不思議なこと」

普段の生活の中で不思議に思うようなことがたくさんあり，それはどうしてそうなるのだろうか，どのように作られたのかがとても気になり言葉の由来や見の周りの物などをインターネットで調べてまとめてみようと思いました。